



「新生ふくしま」の実現に向けて～復興の軌跡～(1/2)

令和8年3月25日
新生ふくしま復興推進本部

資料4-3

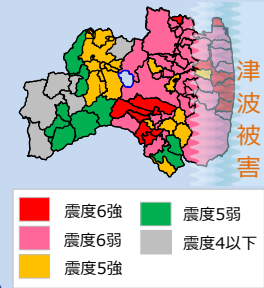
福島県企画調整部
復興・総合計画課
(TEL)024-521-7109

2026.3.25

新生ふくしま 検索

被害状況

◆県内各地の震度



2011年3月11日に発生した「平成23年東北地方太平洋沖地震」はマグニチュード9.0を記録。国内観測史上最大級の地震。地震・津波の被害とともに原子力災害が発生し、周辺住民が避難することとなった。

◆地震被害



地震被害：須賀川市

◆津波被害



津波被害：浪江町

◆原子力災害



事故前の様子



原子力災害：1号機建屋水素爆発（2011.3.12）

人的被害

【2026年2月1日現在】
■死者 4,181人(うち震災関連死:2,350人)

家屋被害

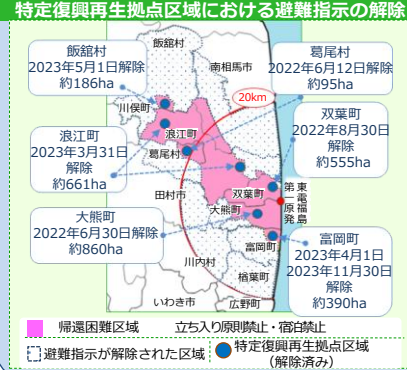
【2026年2月1日現在】
■全壊 15,600棟 ■半壊 87,355棟

福島第一原子力発電所では、地震と津波の影響により、非常用電源を含む全ての電源が使用不可となり、原子炉の冷却機能を喪失。原子炉が損傷した結果、大量の放射性物質が大気中に放出され、周辺住民が長期間の避難を余儀なくされる事態となった。

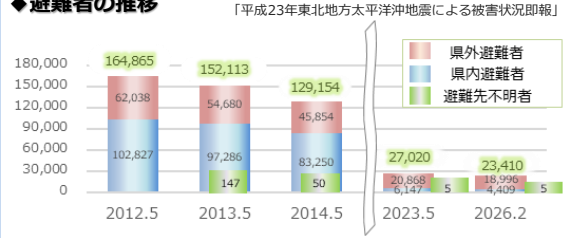
避難等の状況

帰還環境の整備により避難指示の解除が進む。
県内外の避難者数は最大約16万人から約2万3千人まで減少。

避難指示区域・特定復興再生拠点区域における避難指示の解除



◆避難者の推移

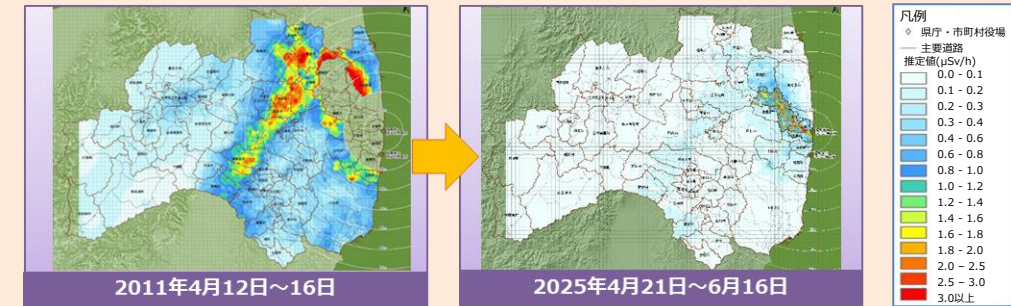


◆特定復興再生拠点区域とは

2017年5月に福島復興再生特別措置法が改正され、帰還困難区域のうち、避難指示の解除による住民の帰還及び移住等を目指すために設けられた区域。2023年11月までに全ての避難指示が解除された。

環境の回復

◆福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査結果等に基づく空間線量率マップ



公共インフラの整備

復興を支えるふくしま復興再生道路や、堤防、防災緑地などの公共インフラの整備が進む。



再生可能エネルギーの推進

再生可能エネルギー先駆けの地を目指し、再エネの導入拡大、水素社会の実現に向けた取組などが進む。

◆再生可能エネルギー導入目標 (2040年頃に100%を目指す。)



出典：日本エネルギー・環境



水素社会の実現に向けた東京都との連携協定

研究拠点



産業技術総合研究所
福島再生可能エネルギー研究所

バイオマス



グリーン発電会津
木質バイオマス発電所

風力

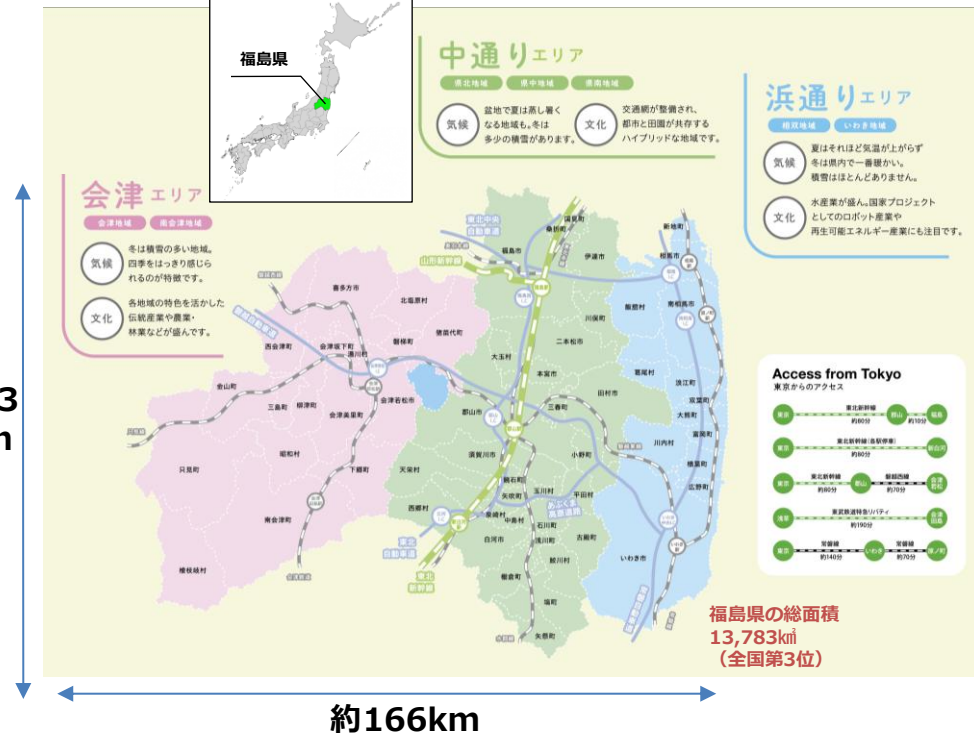


郡山布引高原風力発電所

太陽光



ペロブスカイト太陽電池



約133km

約166km

生活環境の整備・移住の促進

避難している方々の帰還環境の整備を進めるとともに、関係人口・交流人口の拡大や移住・定住の促進に取り組む。



浪江町：道の駅なみえ



双葉町：駅西住宅



「未来ワークふくしま移住セミナー」の様子



富岡町：ふたば医療センター附属病院



大熊町：学び舎ゆめの森



「移住モニターツアー」の様子

福島イノベーション・コースト構想の推進

浜通り地域等の失われた産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指す国家プロジェクト。福島イノベーション・コースト構想推進機構が、構想の具体化に向けた中核的な役割を担っている。2023年4月1日に、構想を更に発展させる役割も期待される福島国際研究教育機構（F-REI）が浪江町に設立。

◆6つの重点分野



I 廃炉
JAEA福島遠隔技術開発センター



II ロボット・ドローン
福島ロボットテストフィールド



III エネルギー・環境・リサイクル
福島水素エネルギー研究フィールド



IV 農林水産業
ICTやロボットの活用



V 医療関連
ふくしま医療機器開発支援センター



VI 航空宇宙
航空宇宙関連産業の集積

◆福島国際研究教育機構(F-REI)



2025.4 福島国際研究教育機構起工式



F-REI施設設備イメージ図
日建設計・日本設計・パシフィックコンサルタンツ設計共同提供
※整備イメージであり今後の設計で変更となる可能性がある

農林水産業の状況

輸出状況は震災前に比べ増加しており、2024年度は過去最高の輸出量に。一方で、県産農産物の価格は回復傾向にあるものの、全国との価格差がまだ回復していない品目がある。

◆農産物の輸出状況



◆主な農産物価格の推移と全国との価格差



◆農林水産業の人材育成



アグリカレッジ福島 アグリ探求棟



林業人材育成のための研修

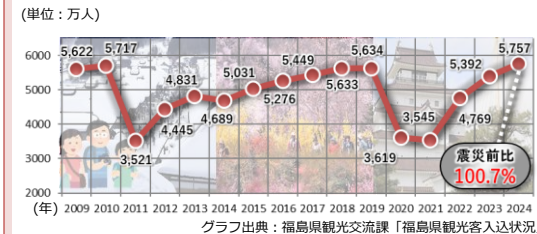


漁業就業者定着のための研修

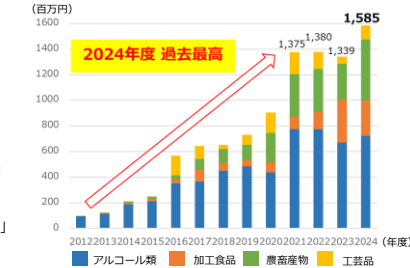
観光・県産品の振興

コロナ禍以降は、観光客の入込数は回復。
2024年度の県産品の輸出額が過去最高を更新。

◆福島県観光客入込状況



◆福島県産品の輸出額の推移



◆美しい自然



只見線 第一只見川橋梁

◆ホープツーリズム



東日本大震災・原子力災害伝承館

◆県産品の輸出促進



知事がEUにおける県産品の輸入事業者を訪問



令和6酒造年度全国新酒鑑評会で、福島県の酒16銘柄が金賞を獲得し、金賞受賞数日本一を達成！

